

オンラインセミナー

配信期間

2023年6月5日(月)～6月19日(月)

(2週間：オンデマンド配信)

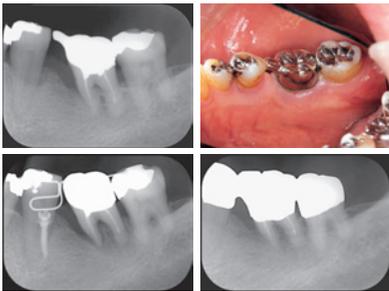
期間中であればPC・タブレット・スマートフォンでいつでも視聴できます。



さ さ き だい すけ
佐々木 大輔 先生

岩手医科大学歯学部
歯科保存学講座歯周療法学分野 准教授

- 2003年 岩手医科大学歯学部歯科学卒業(33期生)
- 2007年 岩手医科大学大学院歯学研究科修了(歯学博士取得)
- 2008年 岩手医科大学歯科保存学第二講座(現歯科保存学講座歯周療法学分野)助教任用
- 2013年 岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野 医局長任用
- 2015年 岩手医科大学附属病院高度先進保存科歯周病外来 外来医長任用
- 2015年 岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野 講師任用
- 2015年 日本歯周病学会 教育賞受賞
- 2019年 岩手医科大学歯学部歯科保存学講座歯周療法学分野 准教授任用
- 2021年 岩手医科大学歯学研究科ベストティーチャー賞受賞



世界初の歯周組織再生剤「リグロス®」の日常臨床応用

1. 世界初の歯周組織再生剤「リグロス®」とは?
2. 効果、効能
3. 適応と術式
4. 使用時の注意すべき項目
5. 「リグロス®」の日常臨床応用

歯周病は日本人の70%以上が罹患している病気です。その中でも、歯肉縁下プラーク中に存在する歯周病原細菌が初発因子として発症する歯周炎、即ちアタッチメントロスに対して日常臨床では様々なアプローチがなされてきました。スケーリング・ルートプレーニングをはじめとする歯周基本治療、またそれだけでは治癒しない深い歯周ポケットに存在する歯周病原細菌に対しては、ポケット除去療法をはじめとした歯周外科といった治療法です。これらは原因の除去を主目的として行われてきました。しかしこの治療法はさらなるアタッチメントロスを食い止めることは出来ても、元々あった健全な歯周組織に戻す、再生するまでには至っていないのが実情です。そこで近年、歯周組織そのものを元の状態に戻す試み、歯周組織再生療法が行われるようになりました。これまでに日本では骨移植術、Guided Tissue Regeneration (GTR法)、エムドゲイン® (EMD) といった歯周組織再生材料を用いた歯周組織再生療法が日常臨床で行われてきました。そして2017年、新しい歯周組織再生療法が加わりました。世界初の歯周組織再生剤として「リグロス®」が日本の臨床の場に登場します。日本の保険適用となる「リグロス®」(科研製薬)は遺伝子組換えヒトbFGF(塩基性線維芽細胞増殖因子)を主成分とした薬剤となります。今までの再生材料は主に2.3壁性の骨欠損で適応となるケースがほとんどでしたが、「リグロス®」は垂直性骨欠損であれば適応となり、実際の臨床の場で使用可能となる症例が飛躍的に増加しました。現在2023年、「リグロス®」が登場してから6年の月日が流れています。本セミナーでは「リグロス®」誕生までを振り返りつつ効果、効能、術式を再確認していただき、6年間使用してきた経験を踏まえながら日常臨床で使用する際のポイントをお話できればと考えています。



かわ い ただし
川井 忠 先生

岩手医科大学歯学部
口腔顎顔面再建学講座口腔外科学分野 講師

- 2005年 3月 東北大学歯学部 卒業
- 2009年 3月 東北大学大学院歯学研究科 修了、東北大学総長賞受賞
- 2009年 4月 東北大学病院歯科口腔外科 医員
- 2012年 4月 東北大学病院歯科口腔外科 助教
- 2018年 10月 岩手医科大学歯学部口腔外科学分野 講師 現在に至る



新規骨補填材料、リン酸八カルシウムコラーゲン複合体「Bonarc®」の基礎研究から市場までの概要と、特徴、使用方法について

1. リン酸八カルシウム
2. コラーゲン
3. 骨補填材料
4. インプラント治療
5. 顎骨再建

2022年6月から市場となった新規骨補填材料「Bonarc®」は、リン酸八カルシウム(Octacalcium phosphate: OCP)とコラーゲンとの複合体である。径9mm、厚さ1.5mmのディスクタイプと、径9mm、厚さ10mmのロッドタイプが販売されている。

OCPは歯や骨などの生体アパタイトの前駆物質と考えられ、実際に生体内でも確認されている。1991年に合成OCPによる骨形成が初めて確認されて以来OCPによる骨再生研究が進められ、HAやβ-TCPよりも生体内吸収性と骨再生能が優れていることが確認された。OCPは性質上の問題で焼結での形態付与ができず顆粒状で使用されていたため、操作性の改善が求められた。OCPと豚皮膚由来アテロコラーゲンの複合体(OCP/Col)を作製したところ、操作性改善のみでなく、骨再生能がさらに向上した。OCP顆粒の大きさや、コラーゲンとの混合比など材料学的な改良を行い、Bonarc®の原型となるOCP/Colが完成した。その後は臨床応用のための橋渡し研究が開始され、イスでの様々な骨欠損モデルを用いてOCP/Colの骨再生能を確認した。2011年からは東北大学で第二相にあたる臨床試験が行われ、人体への安全性が確認できたとともに、ヒトでのOCPによる骨再生が世界で初めて確認された。2015年7月からは全9施設での企業主導治験が実施され、インプラント治療のための骨造成術(サイナスリフト、ソケットブリザベーション)、顎裂骨移植での移植材料、嚢胞摘出腔への補填材料としてOCP/Colが使用され、その有効性が確認された。2017年9月末での治験終了とともに薬事承認の申請が行われ、2019年5月29日に製造販売承認を得て、2022年6月中旬からBonarc®として販売開始となった。

今回の講演では上記の基礎研究から臨床応用までの内容に加えて、実際の使用症例を紹介しつつBonarc®の特性や使用方法などについても紹介させていただきます。

岩手医科大学歯学部同窓会 第73回学術研修会

オンラインセミナー

オンデマンド配信期間 **2023年6月5日(月)～6月19日(月)**

受講料 **3,000円(一律)** (歯科学生と研修医は参加費無料ですが登録は必要です)

- ※ご入金確認から受信用のメールをお送りするまで数日かかります。予め余裕を持ってお申し込みいただきますようお願いいたします。
- ※写真撮影、ビデオ撮影、キャプチャー等は固くお断りさせていただきます。(上記の行為は、著作権や肖像権の侵害に抵触し、法的な問題に発展する場合がございます)
- ※振り込み確認をもちまして、正式な受付完了とさせていただきます。
- ※お振り込みの控えをもちまして、領収書に代えさせていただきます。

●受講料は下記口座にお振り込みください。※ご入金後はご返金できませんので、ご了承ください。

○岩手銀行本町支店(普通) 0194098 岩手医科大学歯学部同窓会 会長 三善 潤 (みよしじゆん)

締切 2023年6月12日(月)

オンラインセミナーの参加には、メールアドレスの登録が必須です

登録はコチラから

※スマホからお申し込みの方で、迷惑メール設定をされている方は、info@keiryokai.gr.jpからのメールが受信できるように設定をお願いいたします。



●QRコード以外からでも申し込み登録は可能です。下記用紙に必要事項をご記入のうえ、FAX、メール、郵便にてお申し込みください。

<http://www.imu-dent-aa.com> 期間中であればPC・タブレット・スマートフォンでいつでも視聴できます。

STEP 1 登録 STEP 2 受付メール受信 STEP 3 受講料お振り込み STEP 4 ログインID・パスワードを受信 STEP 5 動画視聴

岩手医科大学歯学部同窓会 第73回学術研修会 申込書

ふりがな 氏名			
卒業校			卒業期
住所	〒		
TEL		FAX	歯科学生・研修医は <input checked="" type="checkbox"/> をつけて下さい
メールアドレス			<input type="checkbox"/>
他参加者	メールアドレス		
			<input type="checkbox"/>

岩手医科大学歯学部同窓会事務局(圭陵会) 〒020-8505 盛岡市中央通 1-3-27
TEL.019-613-6111(内)7004 E-mail info@keiryokai.gr.jp

FAX.019-624-8380

詳しくは岩手医科大学歯学部同窓会のホームページをご覧ください。 <http://www.imu-dent-aa.com>